

ある日の育児日記から

(88)

佐藤 和代



踏切があくのを待っているとき、有が聞きまし
た。「ねえ、電車と自動車って、どっちが先にで
きたの?」。私はしばし考えて、「どっちなあ。
一番最初にできたのは蒸気機関車なんだけどね」
「いつ?」「百年より、もっと前ね」。すると有は
真顔で「お母さんが、子どものころ?」:おいお
い。私が何歳だと思ってるの。
なんてあきれてもしようがない。ついこの間ま
で、有は「きのう、きょう、あした」以外の時間
の概念がなかったような気がします。また来年、
とか、今度の春には、なんて言われると、必ず

「あしたのあしたのあし
た?」と聞き返してい
た。小さい子って、あま
り長い時間は想像するこ
とができないのでしょ
う。それを思えば、歴史上のことを質問してきた
り、「百年」と言われて何とか理解しようとして
いること自体、大変な進歩だわ。
そんなことを考えていたら、横から圭が口を出
してきました。「ばかだねー、有って。蒸気機関
車が発明されたころでしょ。もっとももっとずーっ
と昔だよね」。



でも有が「いつごろ?」
と聞くと、圭は少し考え
て、「お母さんのお母さん
が子どものころでしょ?」
うーん、小学二年生でも
この程度か。